パソコンとの連携
(Active Sync/Windows Mobile デバイスセンター)

パソコンとの連携（ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンター）

ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使うと、同期やファイルのコピーなど以下のことができます。

- ・パソコンの Microsoft Outlook とこの製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、この製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。
- ・この製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーできます（☞ 11 ページ）。

ここでは、ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターの基本的な使いかたについて説明します。
設定や使用方法についてくわしくは、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターのヘルプをご覧ください。

MEMO

- ● パソコンの Word や Excel のデータを Word Mobile や Excel Mobile のデータに変換したとき、Word Mobile や Excel Mobile がサポートしていない書式や機能などは反映されません。

連携ソフトとパソコンの OS

パソコンと連携するためのソフト、および連携するパソコンの OS は次の通りです。

連携ソフト	パソコンの OS ※
Windows Mobile デバイスセンター	Windows Vista
ActiveSync	Windows XP/2000

※詳しくは、右記の「動作環境」をご覧ください。

パソコンの動作環境について

■ ActiveSync をインストールするパソコン

OS（ActiveSync と USB モデムドライバ共通）

- ・Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 2 以降）
- ・Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2 以降）
- ・Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 4 以降）

必要なアプリケーション

- ・Microsoft Outlook XP、Microsoft Outlook 2003
- ・Microsoft Internet Explorer 6.0 以降

■ Windows Mobile デバイスセンターをインストールするパソコン（2009 年 10 月現在）

OS

- ・Windows Vista（Service Pack1 以降）

必要なアプリケーション

- ・Microsoft Outlook 2007
- ・Microsoft Outlook XP
- ・Microsoft Outlook 2003
- ・Microsoft Internet Explorer

- **次のようなパソコンでの動作は保証できません。**
  - ・自作パソコン
  - ・OS をアップグレードしたり入れ替えたパソコン
  - ・ご自分で追加した USB ポートをお使いのとき
  - ・USB ハブなどを経由した接続のとき
  - ・パソコンにこの製品以外の USB 機器が接続されているとき

ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターをダウンロードする

ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターは、マイクロソフト社のホームページからダウンロードできます（無償）。
以下の URL から、お使いのパソコンの OS に合わせて、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターのページに進み、ダウンロードしてください。
URL http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/downloads/microsoft/default.mspx

ActiveSync をインストールする

ActiveSync をインストールする前にお読みください

ActiveSync をインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。
確認した後、インストールを行ってください。

① Outlook をインストールして、使用状態（下記）にしてください。なお、Outlook Express とは同期できません。

ActiveSync をインストールしても、すぐには使えません。まず、Outlook をインストールして使用できる状態にしてください。

Outlook を使用状態にする

Outlook インストール後、Outlook の「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付けた後、Outlook に連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

② ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。

停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

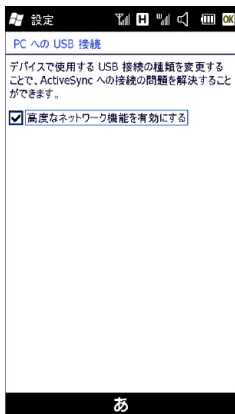
③ Intellisync など他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。

④ Windows Media Player と同期するときは、ActiveSync をインストールする前に Windows Media Player 10 をインストールしてください。

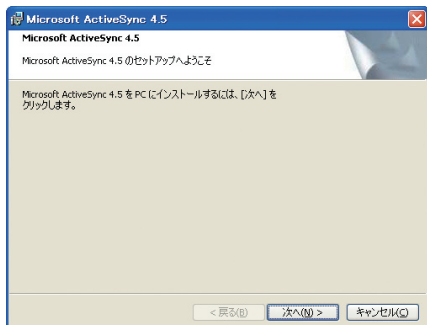
古いバージョンの Windows Media Player とは同期できませんので、ご注意ください。
パソコンの OS が Windows 2000 の場合は、Windows Media Player 9 シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

MEMO

- **ActiveSync をアンインストールするには**
  ［スタート］メニューから「プログラムのアクセスと既定の設定」を選び、「プログラムの追加と削除」画面で「プログラムの変更と削除」をクリックした後、「Microsoft ActiveSync」を選んで［削除］をクリックします。表示される画面の指示に従ってアンインストールします。

1 この製品の通信モードをActiveSyncができる設定にします。

1 スタート画面の “設定” をタップし、“接続” をタップします。
2 “PCへのUSB接続”をタップします。
3 「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックが付いていることを確認し、OK をタップします。

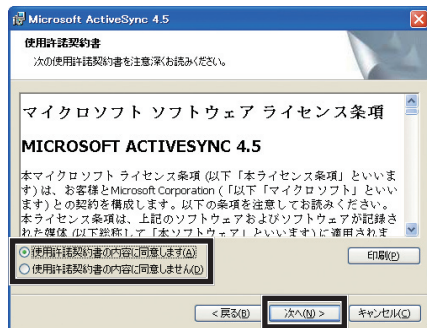
2 ダウンロードした「setup.msi」をダブルクリックします。

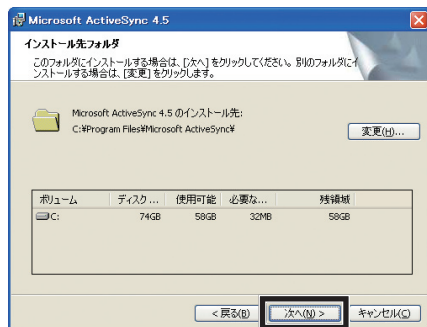
しばらくすると、次の画面が表示されます。

MEMO

- ここでは、Windows XP の画面で説明しています。Windows 2000 Professional では画面の形状が一部異なりますが、基本的な操作のしかたは同じです。

3 [次へ] をクリックします。

使用許諾契約書画面が表示されます。

4 「使用許諾契約書の内容に同意します」をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。

5 「ユーザー名」、「組織」を入力し、[次へ] をクリックします。

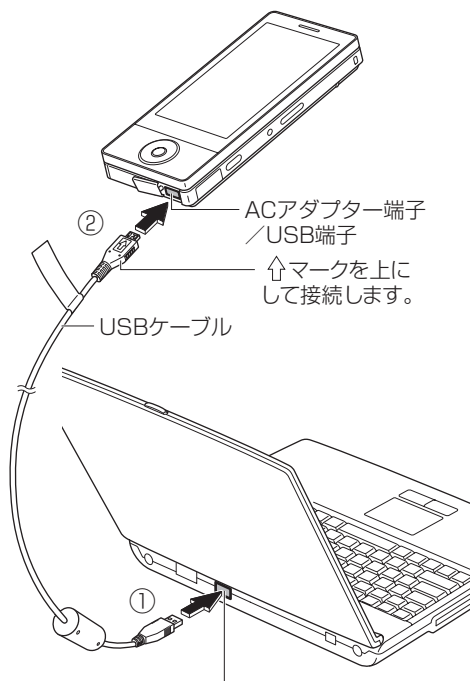
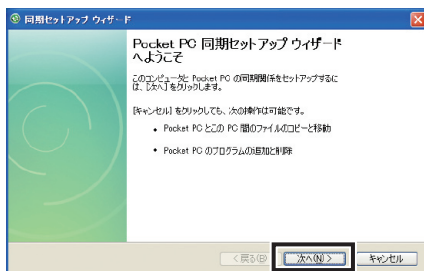
6 インストール先フォルダを必要に応じて変更し、[次へ] をクリックします。

7 [インストール] をクリックします。

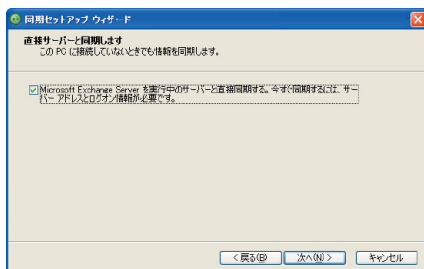
インストールが始まります。

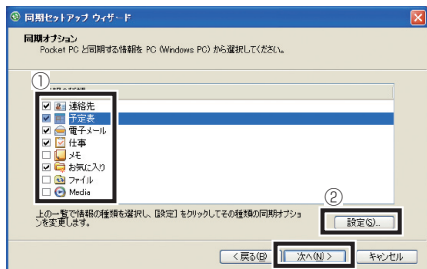
8 インストール終了後、[完了] をクリックします。

9 ①、②の順でパソコンとこの製品を付属の USB ケーブルを使って接続します。

ご注意

- **パソコンと接続するときは、次のことに注意してください**
- 付属の USB ケーブルを使って、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。付属以外のケーブルや USB ハブ、USB 延長ケーブルを使って接続すると、正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、充電池の残量が十分であることを確認してください。

10 「Pocket PC 同期セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

MEMO

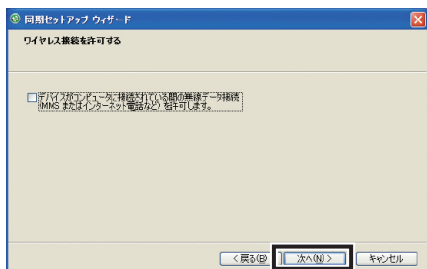
- **お使いのパソコンが Microsoft Exchange Server に接続しているときは**
  手順 **10** の後、「直接サーバーと同期します」画面（下記の画面）が表示されます。
  - ・サーバー情報やログオン情報などをネットワーク管理者にご確認のうえ、画面にしたがって操作してください。

11 Poket PC の名前を入力する画面が表示されたときは、名前を確認し、［次へ］をクリックします。

12 「同期オプション」画面が表示されたら、同期する項目にチェックを付け［次へ］をクリックします。

① 同期する項目にチェックを付けます。

② クリックすると「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

MEMO

- 「ファイル」を選択すると「ファイルの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、［OK］をクリックしてください。この「ファイル」は、同期するためのものです。パソコンとこの製品のファイルをコピーするときは、ファイルのコピー（☞ 11 ページ）を行います。
- Windows Media Player10 と音楽ファイルを同期するときは、Media の項目にチェックを付けセットアップを完了したあと手動で行います。
  Media を選択すると「メディアの同期」画面が表示されます。［OK］をクリックしてください。

13 「ワイヤレス接続を許可する」画面で内容を確認し、［次へ］をクリックします。

14 「Pocket PC 同期セットアップウィザードの完了」画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

しばらくすると自動的に同期が開始されます。同期が終了すると、「ActiveSync」画面内に「接続完了」が表示されます。
手順 **12** で Media の項目にチェックを付けていないときは、手順 **14** で終了です。
Media の項目にチェックを付けているときは、手順 **15** 以降を行います。

15 Windows Media Player 10 と同期する場合（手順 12 で Media にチェックを付けた場合）は、ActiveSync 画面内の Media の右横の「セットアップを完了する必要があります」をクリックします。

16 表示された確認画面で「はい」をクリックします。

Windows Media Player 10 が起動します。

17 Windows Media Player 10 で「同期」タブをクリックし「同期の設定」をクリックします。

18 表示された画面で、「手動」を選択し［完了］をクリックします。

19 画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。

Windows Media Player と同期が始まります。
ActiveSync をインストールできないときや同期できないときは、15 ページをご覧ください。

MEMO

- 手順 **18** で「自動」を選択すると音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが自動的に Windows Media Player と同期しますので、「手動」を選択することをおすすめします。
  くわしくは Windows Media Player 10 のヘルプをご覧ください。
- **ActiveSync インストール後に Media など同期する項目を変更するときは**
  パソコンとこの製品を接続した状態で ActiveSync 画面の「ツール」メニューの「オプション」を選択します。
  設定画面が表示されますので項目のチェックを付けたり外したりします。

Windows Mobile デバイスセンターをインストールする

Windows Mobile デバイスセンターをインストールする前にお読みください

デバイスセンターをインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。
確認した後、インストールを行ってください。

① **Outlook をインストールして、使用状態（☞下記）にしてください。なお、Windows メールとは同期できません。**
Windows Mobile デバイスセンターをインストールしても、すぐには使えません。まず、Outlook をインストールして使用できる状態にしてください。

Outlook を使用状態にする
Outlook をインストールした後、Outlook の「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付けた後、Outlook に連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

② **ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。**
停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

③ **Intellisync など他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。**

1 ダウンロードした「drvupdate-x86」をダブルクリックします。

2 ユーザーアカウント制御画面が表示されるので、［続行］をクリックします。

「Windows Mobile デバイスセンタードライバの更新」画面が表示され、ドライバがインストールされます。
「正しくインストールされました」と表示された場合は、［閉じる］をクリックします。
「インストールの準備中」のメッセージが消えるまで、しばらくお待ちください。

3 （スタート）をクリックし、「Windows Mobile デバイスセンター」をクリックします。

ソフトウェアのライセンス画面が表示されます。

4 ［同意する］をクリックします。

5 パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルを使って接続します（☞5 ページ）。

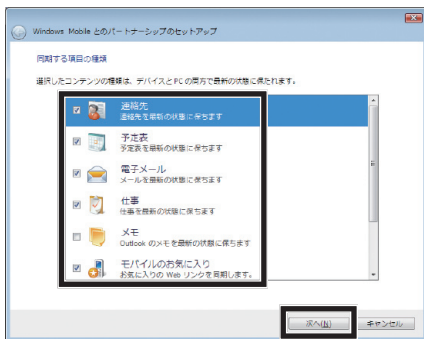
自動的にドライバのインストールが始まります。

MEMO

- 自動再生画面が表示されたときは、［×］をクリックして画面を閉じます。
- 「Windows Mobile メンバーセンター」画面が表示されたときは、［×］をクリックして画面を閉じます。

6 「Windows Mobile デバイスセンター」の画面が表示されたら、［デバイスのセットアップ］をクリックします。

7 「連絡先」などの項目にチェックを入れ、［次へ］をクリックします。

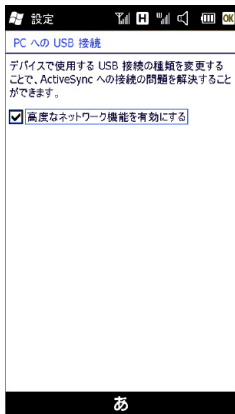
Outlook をインストールしていないと、「連絡先」などにチェックを入れることはできません。

8 パートナーシップの画面が表示されたら、必要に応じてデバイス名を変更し［セットアップ］をクリックします。

9 セットアップが完了すると、Windows Mobile デバイスセンターの画面に戻り、自動的に同期を行います。

ActiveSync を使って同期する

1 スタート画面の “設定” をタップし、 “接続” をタップします。

2 “PC への USB 接続” をタップします。

3 「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付けます。

4 OK をタップします。

ご注意

- **この製品とパソコンを同期するときは**
  必ず手順 **1** ～ **4** を行ってください。

5 この製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

自動的に同期が始まります。
この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO

- 手動で同期するときは、次の方法で行います。

パソコン側から同期を実行する

1 ActiveSyncの[ファイル]メニューの[同期] をクリック、または [同期] をクリックします。

この製品側から同期を実行する

1 スタート画面の “ActiveSync” をタップします。

2 画面左下の 同期 をタップします。

- この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください。

Windows Mobile デバイスセンターを使って同期する

1 この製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

自動的に同期が始まります。
Windows Mobile デバイスセンターは自動的に起動しませんので、起動しておくことをおすすめします。この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO

- Windows Mobile デバイスセンターの画面左下に、同期の状況が表示されます。
  同期の状況を確認したいときは、Windows Mobile デバイスセンターを起動してから USB ケーブルを接続してください。
- 同期できないときは、いったん Windows Mobile デバイスセンターをアンインストールして、再度インストールしてみてください。

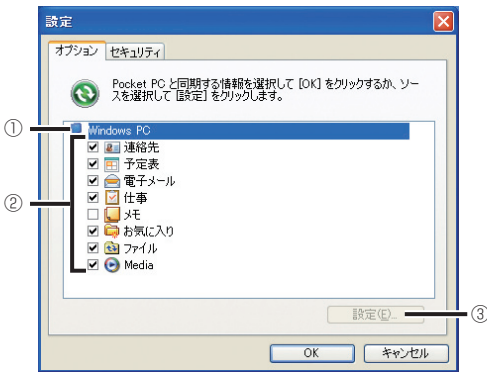
同期をするときの設定を行う

同期を行うときにどのアプリケーションと同期を行うのかを設定できます。

■ ActiveSync の場合

1 **パソコンとこの製品を接続します。**

2 **パソコン側の ActiveSync 画面で、［ツール］メニューの［オプション］をクリックします。**
設定画面が表示されます。

3 **同期に関する設定を行います。**

① 同期するパソコン名（フレンドリ名）が表示されます。
［設定］をクリックするとフレンドリ名の変更やパソコンで設定されている日時をこの製品に同期させることができます。
・パソコンで設定されている日時をこの製品に同期させるときは「接続時に Pocket PC の日時を同期する」にチェックを付けて同期操作を行ってください。

② 同期するアプリケーションにチェックを付けます（チェックを外すと同期されません）。

③「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

予定表	：同期する予定の期間を設定します。
電子メール	：同期する期間、メッセージの形式、サイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
お気に入り	：同期する URL を選択／削除します。
ファイル	：同期するファイルを設定します。同期フォルダに入れたファイルと連動します。

4 **［OK］をクリックします。**

設定画面に表示される「ファイル」は、ファイルを同期するためのものです。
パソコンに保存しているファイルをこの製品にコピーしたり、この製品のファイルをパソコンにコピーするときは、次ページの方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

■ Windows Mobile デバイスセンターの場合

1 **Windows Mobile デバイスセンターを起動します。**
Windows Mobile デバイスセンターを起動せずに次の手順を行っても自動的に同期が始まります（ただし、自動的に Windows Mobile デバイスセンターは起動しません）。

2 **パソコンとこの製品を接続します。**

3 **パソコン側の Windows Mobile デバイスセンター画面で、「モバイルデバイスの設定」にマウスポインタを移動し、「コンテンツの同期の設定の変更」をクリックします。**
設定画面が表示されます。

4 同期に関する設定を行います。

① 同期するアプリケーションにチェックを付けます（チェックを外すと同期されません）。

②「予定表」、「電子メール」、「ファイル」の詳細設定ができます。

予定表　：同期する予定の期間を設定します。

電子メール　：同期する期間、メールの形式、サイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。

ファイル　：同期するファイルを設定します。同期フォルダに入れたファイルと連動します。

5 ［保存］をクリックします。

上記の （ファイル）は、ファイルを同期するためのものです。
パソコンに保存しているファイルをこの製品にコピーしたり、この製品のファイルをパソコンにコピーするときは、右記の方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

ファイルをコピーする

パソコンとこの製品の間で相互にファイルをドラッグ＆ドロップでコピーできます。

MEMO
- パソコンからこの製品に Microsoft Excel ファイルや Microsoft Word ファイルをコピーすると外出先等でもファイルの内容を確認できます。

1 パソコンとこの製品を接続します。

2 ActiveSync の場合

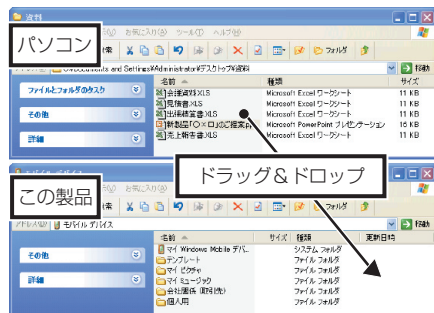
パソコン側の ActiveSync 画面で、[エクスプローラ] をクリックします。
ウィンドウが開き、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

Windows Mobile デバイスセンターの場合

パソコン側の Windows Mobile デバイスセンター画面で、「ファイル管理」にマウスポインタを移動し、「デバイスのコンテンツの参照」をクリックします。
表示された画面で をダブルクリックすると、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

3 パソコンのウィンドウを表示し、パソコンに保存しているファイルやフォルダを表示します。

4 コピーしたいファイルを一方のウィンドウからもう一方のウィンドウにドラッグ＆ドロップします。

ドラッグ＆ドロップしたファイルがコピーされます。
「ファイルの変換」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

5 ウィンドウ右上の ✕ をクリックしてウィンドウを閉じます。

6 パソコンとこの製品を取り外します。

ご注意

- パソコンからこの製品を取り外すとドラッグ&ドロップしてもコピーされません。

前に使っていた連絡先などを移す

WS004SH、WS007SH、WS011SH WS020SHなど他機種のデータ（予定表や連絡先など）をこの製品に移すには、ActiveSyncまたはWindows Mobile デバイスセンターの同期を使って行います。「他機種の予定表や連絡先などのデータ」を「パソコンのMicrosoft Outlook のデータ」に移したあと、そのパソコンのデータをこの製品に移します。ここでは操作の概要を説明します。

同期によって移行できるデータ

・連絡先	・予定表	・仕事
・メモ	・お気に入り	・電子メール※

※電子メールでデータを移行（同期）できるのは、Outlookのアカウントのみです。オンラインサインアップで取得したEメール（ウィルコム）やW-ZERO3メール、ご自分で加入しているプロバイダーメール、ライトメールは同期できません。

ご注意

- WS020SHなどのバックアップツールを使って作ったバックアップデータをこの製品に移すことはできません。

● **他機種で ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールされていない方**
下記の手順 **1** ～ **3** に従って他機種のデータをこの製品に移します。

● **他機種で ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールしてお使いの方**
下記の手順 **2** ～ **3** に従って他機種のデータをこの製品に移します。

1 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールする (☞3～8 ページ)

①この製品の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。
② ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールします。
・ **ActiveSync の場合**
インストール時、「同期オプション」画面で「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「お気に入り」にチェックを付けます。
・ **Windows Mobile デバイスセンターの場合**
インストール時、「同期する項目の種類」画面で「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「モバイルのお気に入り」にチェックを付けます。

2 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使って他機種のデータをパソコンに移す

①他機種の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。
②他機種とパソコンを接続します。
③移したいデータの項目を確認して、他機種のデータをパソコンに移します。
Microsoft Outlook と他機種との間で同期が行われ、Microsoft Outlook と他機種のデータが同じ状態になります。

3 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコンのデータをこの製品に移す (☞9～ 11 ページ)

① ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。
②この製品とパソコンを接続します。
③「同期オプション」画面または「同期する項目の種類」画面で移したいデータの項目を確認して、パソコンのデータをこの製品に移します。
Microsoft Outlook とこの製品との間で同期が行われます。この製品に何もデータが入っていない状態では、Microsoft Outlook に移した他機種のデータがこの製品に移ります。

MEMO
● **携帯電話のデータをこの製品に移すときは**
赤外線通信を使って、携帯電話の電話帳などに登録されている住所や電話番号などをこの製品に移すことができます。

Windows Media Player 10/11 と同期する

ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールし、同期設定をしていると、パソコンの Windows Media Player とこの製品の間で音楽（オーディオ）ファイルを同期できます。
Windows Media Player 10 および 11 と同期することができます。

1 パソコンで Windows Media Player 10 または 11 を起動し、同期する音楽ファイルを取り込みます。

すでに、Windows Media Player に音楽ファイルを取り込んでいるときは、この手順は必要ありません。

2 パソコンとこの製品を付属の USB ケーブルで接続します。

しばらくすると ActiveSync が起動し、「連絡先」など設定しているプログラムの同期を行います。

3 パソコンで Windows Media Player 10 または 11 を起動し、「同期」タブをクリックします。

4 パソコンで同期リストの欄に音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。

同期が始まります。

5 同期完了後、パソコンからこの製品を取り外します。

Windows Media Player の操作についてくわしくは、Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

MEMO

- Windows Media Player と自動的に同期するように設定した場合は、手順 2 を行った後、自動的に同期されます。ただし、音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが同期されますのでご注意ください。

ご注意

- **パソコンの OS が Windows 2000 の場合は**

  Windows Media Player 9 シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

祝日を設定する

ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコン側の Microsoft Outlook と同期することによって、予定表に祝日を設定できます。

1 パソコン側の Microsoft Outlook に祝日を追加します。

祝日の追加については、パソコンの Microsoft Outlook にあるヘルプをご覧ください。

2 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターで予定表を同期します。

予定表に祝日が追加されます。

MEMO

- パソコンとの同期についてくわしくはパソコンにインストールされている ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターのヘルプをご覧ください。
- ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコンと同期するときは、あらかじめ同期する項目や期間の設定をご確認ください。

ご注意

- “PC への USB 接続”で「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックは外さないでください。
  このチェックを外すとパソコンと同期ができなくなります。

同期できないときは

以下の内容をご確認ください。

こんなときは	ここをお確かめください
●「Outlookを既定の設定にしてください」と表示され同期できない。 ●「デフォルトのメールクライアントを設定されていないか、現在のメールクライアントがメールを受け取れない状態にあります。Microsoft Outlookを起動してデフォルトのメールクライアントに指定してください。」と表示され同期できない。	● パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニュー－「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」の項目を「Microsoft Office Outlook」にします。
● ActiveSyncインストール後にOutlookをインストールしたり、Windows Media Player10/11をインストールまたはWindows Media Player10/11にアップグレードしたときは？	● Microsoft Outlookを起動し、「ヘルプ」メニュー－「アプリケーションの自動修復」（Outlook 2007の場合は「Officeの診断」）をクリックし、自動修復を実行します。 自動修復完了後、Windowsの「プログラムの追加と削除」画面でMicrosoft ActiveSyncを選択し［変更］をクリックします。表示された画面で［次へ］をクリックし、次の画面で「修復」を選択し、［次へ］をクリックします。
● エラー（「サポートコード：8503001f」）が表示され同期できない。 ●「プロファイル保護がかかっています。プロファイルを作成し直してください。」と表示され同期できない。 ●「電子メールは既にWindows PCと同期しているため同期できません。」と表示され電子メールの同期ができない。 ● エラー（「サポートコード：80072EE2」）が表示され同期できない。	● 現在の同期設定を削除（モバイルデバイスの削除）し、再度、モバイルデバイスを作り直します。 パソコンとこの製品の接続を外して、パソコンとこの製品に設定されているモバイルデバイスを削除してください。削除後、再度同期を行うと新しいモバイルデバイスが設定されます。 以下の方法でモバイルデバイスを削除してください。 パソコン：ActiveSync画面の「ファイル」メニューの「モバイルデバイスの削除」をクリックして確認画面で[はい]をクリックします。 この製品：“ActiveSync”をタップし、表示されたActiveSync画面でメニュー－オプションをタップし、オプション画面で削除をタップして確認画面ではいをタップします。 パソコンとこの製品の両方のモバイルデバイスを削除した後、USBケーブルで接続すると「同期セットアップウィザード」画面が表示されますので画面にしたがって操作して同期を行ってください。

どうしても同期ができないときは

Outlook を使える状態にしても同期できないときや前ページの方法でも同期できないときは、Outlook と ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをいったんアンインストールしてください。その後、再度インストールしてみてください。

USB ホストとして使う

この製品は、USB ホスト機能を持っています。
USB メモリや USB キーボードなどと接続して利用することができます。
USB 周辺機器を接続する場合は、別途 USB ホストケーブルが必要です。

ご注意

- **USB 機器を接続するときは**

  次の手順で接続してください。手順が違う場合、周辺機器が認識できないことがあります。
  ①周辺機器を USB ホストケーブルに接続する。
  ②周辺機器と接続した USB ホストケーブルをこの製品に接続する。

- **USB 機器を取り外す前に**

  インターネットやメールの送受信など、通信しているときに USB 機器を取り外さないでください。通信が切断されることがあります。

- **USB 機器を認識しないときは**

  一度、この製品側のケーブルを抜いてから再度接続してみてください。